

外国人観光客おもてなしのための

「接客に役立つ3つのツール」を配布しています

問観光まちづくり課☎724・2128、町田商工会議所☎722・5957、町田市観光コンベンション協会☎724・1951

市では、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、町田商工会議所、町田市観光コンベンション協会と連携し、外国人観光客の受け入れ態勢の強化に取り組んでいます。

この一環として、同会議所が作成した「外国人観光客の接客に役立つ3つのツール」を事業者向けに配布しています。市内の飲食店や小売店、サービス業等が外国人観光客のおもてなしに活用することを想定しています。

- 1 外国人接客マニュアル
- 2 指でさして会話ができるシート
- 3 外国人歓迎の店ステッカー



心構えや実用的な英会話集等を掲載



さし示しながら接客するための会話事例(英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字))を掲載



店頭貼り、外国語対応が可能であることを表示

配布場所 観光まちづくり課(市庁舎9階)、町田商工会議所、町田市観光コンベンション協会

町田市成人式

二十祭まちだを開催します!

二十祭まちだ実行委員会の企画・運営で、ゲストによるパフォーマンスや来場者参加型イベントを予定しています。また、新成人の皆さんが市立中学校在学時(3年生)に書いたタイムマシン作文の返却コーナーもあります。

町田市に住民登録のある新成人の方には案内状をお送りしていますが、当日は案内状をお持ちでなくても入場できます。

※市内在住の1998年4月2日～1999年4月1日生まれの方

※1月14日(祝)午後0時30分開場、式典＝午後1時～2時15分(予定)

※場市立総合体育館

※ステージでは手話通訳と要約筆記の案内もあります。

問二十祭まちだについて＝文化振興課(二十祭まちだ実行委員会事務局)☎724・2184、新聞のコピーについて＝中央図書館☎728・8220



昨年の成人式の様子

※公共交通機関をご利用下さい。
※近隣店舗等への駐車は、ご遠慮下さい。

二十祭まちだ応援事業

誕生日の新聞のコピーを差し上げます

新成人の皆さんに誕生日の新聞のコピーをプレゼントします(3ページまで)。

※市内在住の1998年4月2日～1999年4月1日生まれの方

※1月5日(土)～31日(木)の図書館開館日

※場各市立図書館

※用申込書に必要事項を記入し、直接各市立図書館のカウンターへ(申し込みは本人に限る)。

※新聞のコピーは、後日取りに来ていただくか郵送となります。

「町田市わたしの便利帳」を配布します 問広報課☎724・2101

市では、行政情報や暮らしに役立つ情報を掲載した「町田市わたしの便利帳」を(株)サイネックスと共同で作成しました。

1月初旬から月末にかけて、市内全世帯に順次配布します。2月になっても配布されない場合は、(株)サイネックス(☎042・548・1556)へお問い合わせ下さい。



みんなの夢が続々実現!

「まちだまるごと大作戦18-20」開始から1年が経ちました

問まちだまるごと大作戦実行委員会事務局(広報課まちだまるごと大作戦担当)☎724・4084

あなたの夢を実現につなげる取り組み「まちだまるごと大作戦」は、開始から1年が経過しました。200件以上の相談があり、現在46件の提案が夢の実現に向けて動き出しています。市民・地域団体・企業等の新しいつながりができ、各地域が盛り上がりつつあります。自らやってみようという夢を実現するチャンスはあと2年です。

あなたも夢を実現してみませんか!

「作戦会議」に集まろう

まちだまるごと大作戦への理解を深めるため、仲間づくりのための作戦会議を実施します。今回は、2月16日(土)に市庁舎で行います。詳細は決まり次第、本紙等でお知らせします。

まちだまるごと大作戦とは?

2018年の市制60周年から、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックへと続く3年間を「未来を見据えた3年」と位置付けて、市民自らやってみようという夢を市内25団体・企業で構成されるまちだまるごと大作戦実行委員会が応援しています。

最新情報はTwitter・Facebookで発信「#まちだまるごと」で検索



東京2020オリンピック・パラリンピック

町田市が新たに2つの代表チームのキャンプ地に決定!

問オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課☎724・4442

市では事前キャンプの受け入れ準備を進めるとともに、世界のトップアスリートと市民との交流機会の創出や選手団の応援などを通じて、大会を盛り上げていきます。

南アフリカ代表チーム

昨年11月29日に南アフリカオリンピック委員会と、南アフリカ代表チームの事前キャンプ開催の覚書を締結しました。

市は、南アフリカ共和国のホストタウンでもあり、7月18日のネルソン・マンデラ国際デーの奉仕活動等のイベントを通じて交流を深めています。なお、キャンプの対象競技は今後、決定する予定です。



左から、石阪市長、ギデオ・サム会長、木島副市長

インドネシアバドミントン代表チーム

昨年12月17日にはインドネシアバドミントン協会と、事前キャンプ開催の覚書を締結しました。インドネシア共和国の事前キャンプは、パラバドミントン、空手に続いて3競技目の受け入れとなりました。



左から、木島副市長、アレックス・ティルタ副会長

今号の広報紙は、12万5501部作成し、1部あたりの単価は12円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。